



2014年12月

三井住友銀行（中国）有限公司 企業調査部

関 龍一

中国車載用電子部品市場の動向

中国では、政府による環境問題への取り組みの中で、遅れていた自動車の電装化の流れが、いよいよ加速しつつあります。日系電機・電子部品メーカー各社による攻略も始まっていますが、多国籍の完成車メーカーが集中する市場であるだけに、その動向に注目が集まっています。

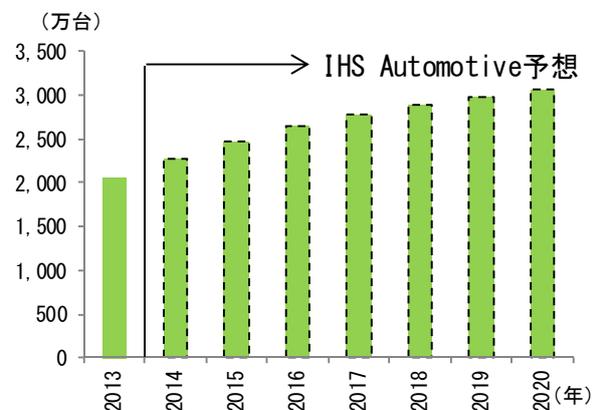
電装化進展に伴う品質要求の高まりや搭載領域の拡大等が、中国地場系を含めた海外企業との取引を新規に獲得するチャンスとなる可能性もあるため、とりわけ中国では車載用電子部品市場の取り込みに向けた競争が、今後一段と過熱していくとみられます。

中国における自動車電装化の加速

世界の電子部品市場は、成長が続くスマートフォン（以下、SP）向けに加え、生産台数増と電装化が進む自動車向けの需要が拡大していること等から、プラス成長が続いています。もっとも、けん引役のSP向けでは新興国での本格的な普及に伴い価格低下が続いており、足元の市場拡大ペースは鈍化傾向にあります。このため、多くの日系電機・電子部品メーカーは、自動車向け事業の強化が重要となってきました。

さらに、中国市場についてみれば、SP、自動車ともに最大の生産規模を有するものの、SPは価格下落に加えて、普及の一巡に伴い台数の高い伸びも期待し難しくなっています。一方、自動車は引き続き根強い1台目需要や買い換え需要により市場は堅調に推移するとみられるうえ、遅れていた自動車の電装化の動きもいよいよ加速する見通しです。加えて、中国では高いシェアを有する地場系に加え、多くの外資系完成車メーカーもしのぎを削っています。日系電機・電子部品メーカーにとっては、市場拡大に伴う日系完成車メーカーとの既存取引拡大はもとより、

図表 中国自動車生産台数予測



（出所）IHS Automotive を基に弊社作成

（注）乗用車と車両総重量5t未満の小型トラックが対象

電装化の方向性

自動車の電装化は、一般的に「環境」、「安全」、「快適」の三つの領域で進展するとされています。電機・電子部品メーカーにとっては、「環境」領域における低燃費車・新エネルギー車関連部品等、「安全」領域における衝突安全制御システム等、「快適」領域におけるディスプレイオーディオ等の市場拡大につながります。

急速に自動車の普及が進む段階にある中国では、低価格で販売することが完成車メーカーのシェア向上につながるため、コストアップにつながる電装化はなかなか

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊行が一般に信頼できるとされる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を弊行で保証する性格のものではありません。また、本資料の情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願い致します。本資料の一部または全部を、電子的または機械的手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じております。



か進まないとの指摘もあります。もっとも、「環境」領域における電装化については、他領域に先んじて進むことが期待されています。この背景には、原油の輸入依存度上昇や、深刻化している大気汚染問題が待ったなしの状況にあることが挙げられ、実際、政府は完成車メーカーに対する燃費規制の段階的な強化や、新エネルギー車の普及を推進する計画も掲げています。

中国市場の捕捉に向けた課題

一方、日系電機・電子部品メーカーが、中国における自動車電装化の流れを捕捉し新規受注先を獲得していくためには、以下のような中国特有の課題への対応がポイントになるとみられます。

① 自動車生産の広域化

格差是正等の観点から、内陸部への自動車産業の進出を促す政府の意向を受け、内陸部における自動車生産が拡大しつつあります。同時に、沿海部における生産拡大も続くとみられ、自動車の生産拠点は広域化する見通しです。自動車向けの生産拠点が限られる日系電機・電子部品メーカーにとっては、完成車メーカーの生産広域化に合わせた新たな拠点展開が求められます。加えて、後述する完成車メーカーのシェア変動や、生産管理ノウハウの乏しい地場系メーカーにおける生産計画下振れリスク等を踏まえれば、新規投資には相応のリスクも伴います。

② 完成車メーカーのシェア変動

国籍別の完成車シェアをみれば、低価格

車を中心の市場において、地場系メーカーはこれまでトップを維持してきましたが、足元では欧米系メーカーの積極攻勢によりシェアが逆転するなど、メーカーの優勝劣敗が進展しています。今後も、中国では消費の多様化が急速に進んでいるほか、とくに「環境」領域における政策の方向性は完成車メーカーの競争力に大きく影響するため、完成車のシェアは見通し難いと言えます。加えて、車載用電子部品は高い安全性を求められ、量産開始までに長期にわたる交渉を要するため、中国で勝ち組メーカーとの取引を確保し続けるには、シェア変動に備えた複数の受注先獲得も必要になってきます。

今後の見通し

低燃費車・新エネルギー車関連部品において高い技術力を発揮出来る日系電機・電子部品メーカーにとって、今後、電装化の動きが加速していく中国の自動車市場への取り組みは、ますます重要になるとみられます。

日系電機・電子部品メーカーの中には、最近、中国系サプライヤーへの出資や、製品分野・系列が異なる企業の買収を行う動きもみられます。今後は新規拠点設立に係る投資負担軽減、技術補完による提案力強化、販路共有等を狙った事業領域や国籍をまたいだ再編の動きも、中国市場を攻略するうえで拡がりを見せる可能性があり、こうした中国自動車部品産業の構造変化につながる各社の取り組みが注目されます。（関）